

国立大学法人京都工芸繊維大学学長選考基準

平成29年3月1日
学長選考・監察会議決定
令和5年3月3日一部改正

I. 学長に求める資質及び能力

国立大学法人京都工芸繊維大学の学長には、高潔な人格、優れた学識のほか、大学における教育研究活動を、本学の理念に則って適切かつ効果的に運営するための次に掲げる資質及び能力が求められる。

1. 大学の理念に掲げる理念、社会的使命、アクションを踏まえ、その実現のための明確なビジョンを持つこと。
2. ビジョンの実現に向けて、強いリーダーシップを発揮できること。
3. 本学の研究・教育環境の充実・発展に資するための安定的な財政基盤の確保と適切な資源配分を実現できるマネジメント力を有すること。
4. 学内外における信頼関係を構築するためのコミュニケーション力を有すること。
5. 国内外とのネットワークを活用し、本学の存在感を高めるための情報を発信することができること。
6. グローバル化を積極的に推進するための国際的な視野と実行力を有すること。

大学の理念

国立大学法人京都工芸繊維大学は、百二十有余年前、京都高等工藝学校及び京都蚕業講習所に端を発し、永きにわたり発展を遂げてきました。この間、日本文化の源である京都の風土の中で培われた、〈知と美と技〉を探求する独自の学風を築きあげ、学問、芸術、文化、産業に貢献する幾多の人材を輩出してきました。

二十一世紀において、本学は、国立大学法人として、自主自律の大学運営により社会の負託に応えるため、地球時代で顕在化し直面している幾多の課題の解決法を探求し、未来の持続可能な世界を実現する使命を負っています。

そのために、京都発の先鋭的な国際的工科大学 KYOTO Institute of Technology として、これまでにない新しい発想や価値の創造を実現すべく、ここに本学の理念を宣言します。

【理念】

1. ART×SCIENCE、すなわち、未来を拓く夢・科学的空想・イノベーションのための飛躍につながる ART の発想と、緻密な分析に基づき、これに具体的形を与える SCIENCE を統合させ、新価値の創造を目指します。
2. LOCAL×GLOBAL、すなわち、質の高いものづくりと信用に支えられた LOCAL で培われた〈京都思考〉に基づき、持続可能な世界的問題を解決する GLOBAL な〈地球思考〉を併せ、新価値の創造を目指します。
3. TRADITION×INNOVATION、すなわち、京都の歴史・文化 TRADITION への深い造詣・共存と、それを基盤として磨かれた匠の技 INNOVATION を掛け合わせ、他に追随のできない信用ある新価値の創造を目指します。

【社会的使命】

国立大学法人京都工芸繊維大学は、京都が持つ知と技を活用して、教育研究を展開し、新たな価値創造による次世代の社会システムを構築することにより、地球と日本の未来に、人類が「平和で豊か」な美しい社会を育むことに貢献することを社会的使命として掲げ、以下に具体的戦略をアクションとして示します。

【アクション】

1. 公共財として知的資源を集約させてきた本学は、教育研究を構造的・総合的に改革・推進するシステムを配備します。
2. 本学は〈京都思考〉をベースとした、教育研究の基盤インフラであり、世界の知的機関とネットワークを構築し、人的・知的情報交換を推進するハブとなります。
3. 京都地域を牽引し、産業のるつぼ〈京都バレー〉を構築し、また社会の発展を牽引すべく知的貢献を為します。
4. 産業イノベーション、未来社会構築のための、異分野横断型の新領域構築システムを揺籃し、経済社会メカニズムを転換する新たな価値を創造する駆動力となります。
5. 大学のガバナンス構造改革を進め、高い自律性を有し、内部質保証として業務のPDCAサイクルにより見える化と迅速な改革を促進します。

II. 学長選考の手続き・方法

国立大学法人京都工芸繊維大学学長選考・監察会議は、国立大学法人京都工芸繊維大学学長選考規則、国立大学法人京都工芸繊維大学における学長選考の実施に関する要項に基づき、学長候補者を選考する。